



近藤スワインビジネス  
近藤 崇幸さん  
31歳

## 生産者に聞く

— 養豚業はいつごろから？  
父が営んでいた養豚業を継いで、現在5年経ちます。社会勉強のために就職したのですが、両親の体を考え3年勤めた後家業を継ぎました。

— 従業員数は何人でしょう？  
正規の従業員は母と姉、そしてわたしの3人。それとパートが1人です。

— 豚は何頭飼育していますか？  
常時2,800頭くらいですね。養豚業としては、平均よりやや大きめの規模だと思います。

— それほどの頭数を4人で飼育されているのはびっくりです。苦労も多いのでは？  
そうですね。毎日作業があり休みが取りにくいですが、調整しながら休んでいます。

— 飼育している豚の特徴を教えてください。  
ランドレース（L）と大ヨークシャー（W）という種類の豚を掛け合わせたLWという種類の雌に、デュロック（D）という種類の雄を掛け合わせLWDという品種を育てています。脂に甘みがあり柔らかいのが特徴です。

— おいしい豚肉を作るために心掛けていることは何でしょう？  
おいしい豚肉を作るために心掛けていることは何でしょう？

わたしは健康な豚が、おいしい豚だと考えています。そのため3つのことを心掛けて豚を飼育しています。1つ目は水。赤城の地下水をくみ上げおいしい水を豚に与える。2つ目は餌。購入した飼料にミネラルや乳酸菌を混ぜた自家製の添加剤を加え、強い豚に育てます。3つ目は環境。温度と湿度の管理を行い、換気を小まめにする。また、食品工場でも使用している消毒液を部屋にまき、清潔に保つようにしています。

— 現在本市が進めているTONTONのまちの取り組みについてどう思われますか？  
この取り組みにより、観光

も生産者も盛り上がることを期待しています。前橋市全体が活性化してほしいですね。

— 最後にこれからの目標を教えてください。  
幅広い分野から情報収集を行い、新しい技術を取り入れながら安全でおいしい豚肉を提供できるよう、研究を重ねていきます。

また、人のアレルギーに対して家畜のふんやホコリが免疫になることや、家畜を使つたアニマルセラピーなどについての研究、堆肥の家庭菜園や野菜農家への提供などを通じて、社会とのつながりを深めて畜産業の重要性をアピールしていきたいです。



空気を小まめに入れ替えて、豚が病気になるように常に気を付けています。



出荷時の豚の体重は110kg以上に。大人3人がかりでも動かすのは大変！



出荷される豚はトラックで市場へ。近藤さんの所では週に80頭くらい出荷しています。



僕たちってとってもきれい好きなんだよ！

### 体験を終えて

清潔に保たれた豚舎で、大切に育てられていた豚たち。普段何気なく食べている豚肉は、生産者の愛情が詰まっていることを実感しました。（荻・左から2番目）



べて前橋産の物にそろえました。子どもたちに安全でおいしい地元の食材を食べてもらうことで、豚肉などの地場産農畜産物の消費拡大と生産者の育成を推し進めています。

「おいしい豚肉を食べてほしい」いつの日もそれが生産者の願いです。その思いを皆さんに届けるため、本市ではこれからも地域の環境と調和した畜産業の確立に取り組んでいきます。

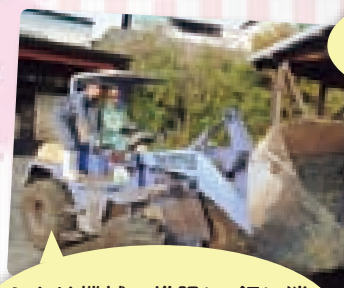
※農林水産省・平成18年市町村別農業産出額より

# 行ってみよう養豚農家

富士見町皆沢 近藤スワインビジネスさん

## 広報係員が一日体験

おいしいTONTON料理はおいしい豚肉から。「どのように豚が育てられているか知りたい」そんな思いに駆られた広報係の職員が養豚農家を直撃。肌で感じてきた養豚業をレポートします。皆さんと一緒に、おいしい豚肉のルーツを探る体験にレッツゴー！



ふんは機械で堆肥に。餌に消臭効果のある添加剤を入れて臭いを抑えてあるそうです。

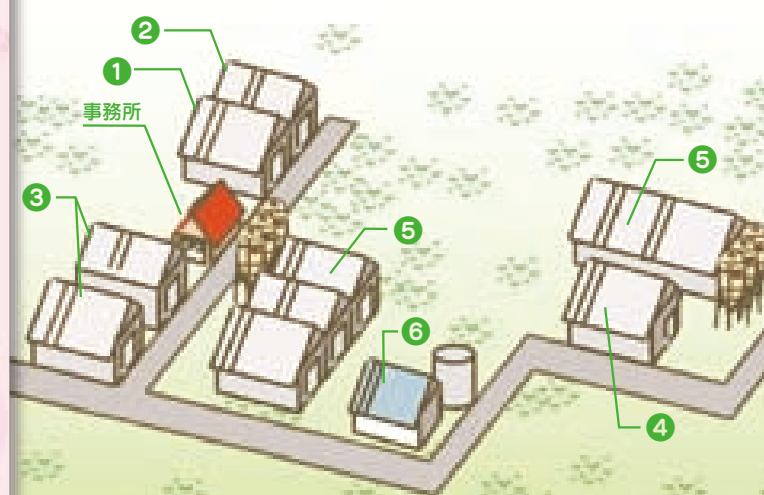


子豚たちは元気いっぱい。たくさん食べて、たくさん飲んで、早く大きくなってね。



赤ちゃん豚の栄養はお母さんのおっぱいから。1時間おきに1分間、1日に24回くらい飲むそうです。

### 施設マップ



- ①交配舎**  
種付け用の雄豚と雌豚がいる豚舎。雌豚の発情周期に合わせて種付けが行われます。
- ②妊娠舎**  
豚の妊娠期間は114日間。分娩1週間前までここで過ごします。
- ③分娩舎**  
出産した豚と離乳するまでの赤ちゃん豚が約25日間過ごします。
- ④離乳舎**  
離乳した子豚が過ごします。病気に感染しやすい年ごろのため、温度が機械で一定に保たれています。約2カ月間過ごします。
- ⑤肥育舎**  
生後約3カ月からの豚が過ごします。大きさごとに部屋が分けられ出荷までの90日間を過ごします。
- ⑥ふん尿処理施設**  
1日に約4トンの出る豚のふんをここで堆肥にします。

### 本市の養豚業と施策

平成18年における本市の豚肉の産出額は90億円（旧富士見村を含む）※。これは県内の豚肉産出額の29・4％。また、本市の農業産出額の23・2％を占め、それぞれ1位となっています。本年の養豚農家1戸当たりの飼育頭数は1,809頭。平成19年と比べると約200頭増え、養豚業は大規模経営の傾向にあります。

本市では安全・安心な農畜産物の生産・加工・流通・消費の推進を農業施策の大きな柱に掲げ、優良品種の導入や安全な飼料の確保、防疫体制の維持強化などの支援を行っています。また、農業の担い手の確保・育成にも力を入れ、安定的な農業経営を営むための支援を行うことで、魅力ある農業経営の確立に取り組んでいます。

地産地消も重要な取り組みの1つです。農畜産物直売所や農業まつりで地場産農畜産物と合わせて豚肉の販売を行っています。また、学校給食では平成19年からTONTON汁を献立に加え、ことし10月からはそれに入れる豚肉をす

Q1の答え ○ 年に2～3回種付けするため、年間20頭前後を出産。

Q2 豚の赤ちゃんは、おっぱいを飲む場所が決まっている。